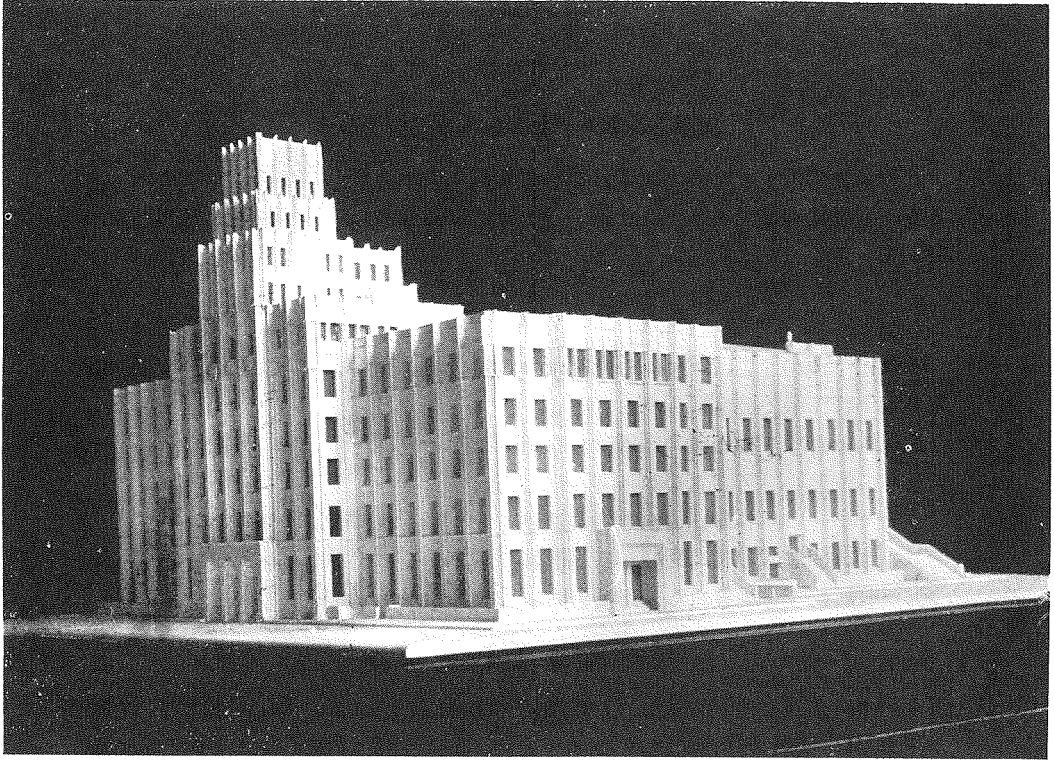


(1) Proposed model of the Tokyo Municipality Hall to be erected at one corner of the Hibiya Park.

(1) 日比谷公園の一角に工事中の東京市公會堂の模型寫眞
右は公會堂、左の塔の部分は市政調査會館

名稱	東京市政調査會館及び東京市公會堂
起工	大正十四年九月(一時中止)昭和二年八月再着手。
竣工豫定	昭和四年七月
階數	十一階
坪數	地階建坪 1,017 坪5合 總延坪 4,870 坪7勺弱 他に空濠及外階段等、176 坪を合すれば 5,046 坪
樣式	現代式
構造	鐵骨鐵筋混凝土造。外部仕上げは公會堂正面玄関に鑄御影の石貼りを施し、その他は殆ど色付タイルを以て貼り付け、窓臺及蛇腹をテラコッタ仕上げとす。



(2) The design was made by Dr. Sato Koich, a noted architect in Japan. At left side, the city office building is seen and at right corner, the building to be used as a hall is seen.

(2) 東京市公會堂模型、左が市政調査會館、後が公會堂

基礎盤施工法 フローティング、ファウンテーション。(この邊一帶の地盤は沖積層であつて、地下水壓と土壓とで平衡を保たれてゐるのであるが、土砂の埋立をしたため、その平衡が破れたために『幽靈地盤』の異名を得たが、別段特殊な地盤ではない、沖積層の所はどこでもこれと同一である。)

設 計 工學博士 佐藤 功一氏

請 負 清水組

設計現場監督主任 佐藤事務所 木村武一氏

現場監督主任 清水組 渡邊俊雄氏